

1 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本はユーラシア大陸の東側にある①島国で、太平洋を取りまく②環太平洋造山帯の一部をなしている。明治以降、千島・台湾・樺太南半部などを領有したが、第二次世界大戦後、領土は、北海道・③本州・四国・④九州とその周囲の島々のみとなった。沖縄は1972年に返還されたが、北方領土は、現実にはロシア連邦の統治下にあり、政府は強く返還を求め、政府間交渉を続けている。

近年、⑤航空交通の発達などにより、旅行やビジネスで外国に出かける日本人や逆に日本を訪れる外国人が増加している。日本人の行き先は、⑥アメリカ合衆国と⑦韓国・中国などのアジア地域が多く、日本へ来る外国人も、比較的近い国や地域からが多い。こうして、⑧日本と諸外国との交流が積極的に進められている一方、日本へ出稼ぎに来る⑨外国人労働者の問題が増加している。

(1) 下線部①に関して、日本は、島国でありながら、海に面しない内陸県がいくつかあります。全部でいくつあるか、その数字を答えなさい。

(2) 下線部②に関して、環太平洋造山帯に属さないものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ロッキー山脈
- イ フィリピン諸島
- ウ ニューゼーランド
- エ パミール高原

(3) 下線部③に関して、次の表は中国地方5県についての統計をまとめたものです。その中から、広島県、岡山県にあてはまるものを表中のア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

県名	人口 (万人)	人口密度 (人/km ²)	製造品出荷額 (十億円)		
			鉄鋼業	化学工業	石油製品
ア	61	173	15	2	3
イ	74	110	162	15	2
ウ	195	274	948	1028	1227
エ	287	338	1193	320	12
オ	149	244	641	1603	1151

(『2008年度版データブックオブザワールド』より)

(4) 下線部④に関して、九州について書かれた次のア～エの文の中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 福岡県は、中央省庁からの出先機関が置かれ、九州の行政を支え、大企業も支社を設けている。八幡製鉄所を中心に発展してきた北九州工業地域は、1960年代以降も更なる発達を続けている。
- イ 佐賀県は、筑紫平野にクリークをめぐらせて水田を築くとともに、有明海を干拓で農地にかえるなど、耕地利用率は非常に高い。また、別府市・伊万里市では陶磁器の製造が盛んである。
- ウ 熊本県は、IC産業が発達するとともに、い草・すいか・メロンなど多彩な農産物の産地でもある。阿蘇山の外輪山に囲まれたカルストは、世界屈指の大きさをもつ。
- エ 沖縄県は、観光を中心とするサービス業の就業者の割合が高く、農業に関しては、さとうきび・パイナップル栽培が盛んである。また、沖縄には日本にあるアメリカ軍基地の約4分の3が集中している。

(5) 下線部⑤に関して、次の文の にあてはまる空港名を答えなさい。

空港は旅行客だけでなく、集積回路やコンピュータなどの軽量・高額の航空貨物も扱い、日本最大の貿易港になっている。

(6) 下線部⑥に関して、アメリカ合衆国の都市の説明と地図中のア～オの組み合わせとして正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。



- アー人口がアメリカ合衆国最大で、国際連合の本部が置かれている。世界の商業・金融に多大な影響を与えている。
- イー世界有数の自動車工業都市である一方、失業率・貧困率が非常に高い。さらに、GMの破綻などにより再開発が困難な状況となっている。
- ウー鉄鋼業と、中央平原の農業地帯を背景とした食料品工業や農業機械工業が発達している。また、2016年のオリンピック最終候補地ともなった。
- エーNASAにより宇宙産業が発達し、その周辺には、先端技術産業が集中したシリコンプレーンがある。
- オー人口はアメリカ合衆国第2位で、油田や水力発電をもとにして、石油化学・航空機・電気機器などの工業が盛んである。

(7) 下線部⑦に関して、韓国について書かれた次のア～エの文の中から、誤りをふくむものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 朝鮮半島北部は、冬の季節風の影響で、三寒四温の現象がみられ、民家ではオンドルで暖をとっている。
- イ 日本は、1910年から第二次世界大戦が終わるまで植民地として支配し、その間、創氏改名などを実施した。
- ウ 1970年代から、日本や欧米からの資金や技術を導入し、台湾やシンガポールとともにアジアNIESの一員として中進国に位置づけられた。
- エ 工業都市には、大規模な製鉄所のあるポハン、ICや自動車工業のソウルとその外港としてのシャンハイなどがある。

(8) 下線部⑧に関して、日本と諸外国との交流について、次のa～cの文が表す国をそれぞれ答えなさい。

- a 日本と、1991年にCISを組織したこの国の貿易品目をみると、この国から日本への輸出品ではアルミニウム・かになどの魚介類・木材など原材料が多く、日本からの輸入品では自動車や機械類が多い。
- b 日本と、1990年に統一されたこの国の貿易品目をみると、この国から日本への輸出品では機械類・自動車が多い。特に、日本が輸入する自動車の多くがこの国の車である。
- c 日本と、この国の貿易品目をみると、この国から日本への輸出品では石炭・鉄鉱石・液化天然ガスなどの地下資源や、肉類・羊毛などの農産物が多い。特に、石炭や鉄鉱石は日本がこの国に依存する割合が大きい。

(9) 下線部⑨に関して、次の表は在留外国人登録者数の上位4カ国を示したものです。() にあてはまる国名をア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

	1990年	1995年	2000年	2005年
韓国・朝鮮	687940	666376	635269	598687
中国	150339	222991	335575	519561
()	56429	176440	254394	302080
フィリピン	49092	74297	144871	187261

(単位は人。『2008年度版データブックオブザワールド』より)

- ア アメリカ イ ブラジル ウ イギリス エ タイ

2

次のⅠ～Ⅳの文章を読み、あとの問いに答えなさい。

Ⅰ

旧石器時代、日本の人々は石を打ち欠いて作った打製石器を使い、狩りや採集の生活をしてきた。旧石器時代が終わり①縄文時代になると、人々は土器を作るようになった。さらに、②弥生時代になると、人々は金属器を使うようになり、稲作が本格化した。

(1) 次のア～カの中から下線部①に関係のないものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 土偶 イ 貝塚 ウ 三内丸山遺跡
エ 銅鐸 オ 竪穴住居 カ 埴輪

(2) 下線部②の時代の世界のようにして書かれた次のア～エの中から、誤りをふくむものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア イタリアの都市国家ローマが、地中海を中心に領土を広げ、ローマ帝国として繁栄した。
イ パレスチナ地方では、人は神の前に平等であり、神の愛によって誰でも救われると説いたイエスが、キリスト教をおこした。
ウ 秦の始皇帝は中国を統一し全国を治め、さらに倭の奴国の王に印をあたえ、結びつきを強めた。
エ 中国西北のオアシス都市を支配した漢は、シルクロードを通じて西方の国とさかんに交易をおこなった。

Ⅱ

桓武天皇は、784年に都を(①)京に移し、さらに794年、平安京に都を移し政治改革をおこなった。9世紀後半になると、藤原氏の摂関政治が成立し、平等院鳳凰堂を建てた(②)のころに最盛となった。

(3) (①)、(②)にあてはまる語句を答えなさい。

(4) Ⅱの文章のころに関して書かれた次のア～エの文の中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 征夷大將軍に任じられた坂上田村麻呂は、蝦夷平定後、大野城を築いて東北地方の支配を拡大した。
イ 唐から帰国した空海は比叡山延暦寺を建て、密教である真言宗を広めた。こうした仏教は、貴族たちを中心に、人々のあいだに広まった。
ウ 有力農民らは開発した荘園を貴族や寺社に寄進し自分は荘官となった。これに対し、寄進を受けた荘園領主は有力農民らに不輸・不入の権などの特権を与えた。
エ かな文字が普及し、『土佐日記』や『枕草子』など優れた日記・随筆などが書かれるとともに、『古今和歌集』が藤原定家らによって編集された。

Ⅲ

中国で、モンゴル民族を北へ追いはらった漢民族が明を建国したころ、朝鮮では、(①)がたおされ、国名が朝鮮と改められた。尚氏が沖縄本島を統一し建てた(②)王国は、明を中心とする朝貢貿易に加わった。

(5) (①)、(②)にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

(6) 文章Ⅲのころに関して書かれた次の文aとbの正誤の組み合わせとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- a 京都の室町に御所をかまえた3代將軍足利義満は、南北朝を統一し動乱を終わらせた。義満は、太政大臣になるなど、朝廷の権威も身につけた。
b 正長元年、近江の馬借や、京都周辺の農民が、借金の帳消しなどを求める一揆を起こした。
ア a—正 b—正 イ a—正 b—誤 ウ a—誤 b—正 エ a—誤 b—誤

IV

19世紀後半、日本で製糸業や紡績業などの軽工業を中心に、産業革命が始まった。日清戦争後、官営の八幡製鉄所が操業を開始すると、鉄鋼や造船などの重工業が発展したが、それにともない社会問題も発生した。

(7) 下線部について、衆議院議員を辞し、天皇に直訴するなどして、足尾銅山鉍毒事件の解決に取り組んだ人物を答えなさい。

(8) IVの文章のころに関して書かれた次のア～オを、時代の古い順に並べかえなさい。

- ア 下関条約の締結 イ 韓国の併合 ウ ポーツマス条約の締結
 エ 治安維持法の制定 オ 大日本帝国憲法の発布

(9) IVの文章の時代に活躍した人物について書かれた次のア～オの中で、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えなさい。

	人 物	業 績
ア	正岡子規	写生に基づく俳句・短歌の近代化に努め、俳句雑誌『ホトトギス』で活躍した。
イ	滝廉太郎	「荒城の月」「花」など、国民的に広く知られるすぐれた歌曲・童謡を作曲した。
ウ	津田梅子	最初的女子留学生として岩倉遣外使節に随行、帰国後女子教育に尽力し、女子英学塾を設立した。
エ	北里柴三郎	渡米してロックフェラー研究所員となり、細菌学者として黄熱病の研究に尽力した。
オ	樋口一葉	男性中心の社会にあって、『たけくらべ』で、東京下町の女性の哀感を描いた。

3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

①日本国憲法によると、国権の最高機関は②国会であると規定されています。しかし、実際の日本の政治においては③内閣の権力が強く、「行政権の拡大」として問題となっています。国民は国会に対しては④選挙を通じて、国民の意思を政治に反映することができますが、内閣に対しては⑤世論を通じて意思を伝えるしか方法がありません。

また、国民は裁判所に対しても、⑥国民審査を通してしか、国民の意思を反映させる方法がありませんでしたが、⑦2009年からは⑧裁判員制度が導入され、国民の代表が裁判員として裁判に参加することができるようになりました。

(1) 下線部①の条文に関する記述として正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 戦争を放棄し、国の交戦権を否認している。
- イ 天皇は国会の議決と承認に基づき、国事行為を行う。
- ウ 地方公共団体は法律の範囲内で政令を制定することができる。
- エ 国民には納税の義務と兵役の義務がある。

(2) 下線部②が持つ権限として誤っているものを次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国政調査権 イ 内閣不信任決議権 ウ 弾劾裁判所の設置
- エ 条約の承認 オ 違憲立法審査権

(3) 下線部③について、2009年9月に内閣に新たに設置された庁の名前を答えなさい。

(4) 下線部④について、次の文章の空らん (A) (B) に当てはまる語句・数字の組み合わせとして正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

「2009年8月30日に行われた選挙は (A) 議員を選出する選挙で、小選挙区制で (B) 人、比例代表制で180人の議員が選出されました。」

- ア A 衆議院 B 200 イ A 衆議院 B 300
- ウ A 参議院 B 200 エ A 参議院 B 300

(5) 下線部⑤に関連して、最近の世論によると、国民は「景気対策」や「社会保障問題」に強い関心を持っているという調査結果が出ています。これらの問題に関する次の問いに答えなさい。

a 不景気の時に日本銀行が実施する政策として適当なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 政策金利の引き上げを行う。
- イ 有価証券を市中銀行に売却する。
- ウ 所得税の値下げを行う。
- エ 支払準備率を引き下げる。

b 障害者や高齢者も健常者と同様に生活できる環境を作ろうとする考えを何といいますか。解答らんにしたがってカタカナで答えなさい。

(6) 下線部⑥のほかにも、日本国憲法には特定の地方の住民に直接民主制を行うことがあります。それは、国会が地方公共団体のために何を制定した時ですか。漢字三字で答えなさい。

(7) 下線部⑦について、2008年9月と2009年9月を比較した時の、経済指標を示した文章として誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ガソリン代が値下がりしている。
- イ 円高・ドル安が進んでいる。
- ウ 完全失業率が下がってきている。
- エ 高速道路の利用者が増えている。

(8) 下線部⑧の特徴を示した文章として、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 刑事裁判と民事裁判に適用される。
- イ 高等裁判所でも実施される。
- ウ 裁判員には審理内容の守秘義務がある。
- エ 裁判員のみで審理を行う。

2010年度 社会

解答用紙

受験番号

得点

高一会場

1	(1)		(2)		(3)	広島県		岡山県		
	(4)		(5)	空港			(6)		(7)	
	(8)	a		b		c		(9)		

2	I	(1)		(2)	
----------	---	-----	--	-----	--

II	(3)	①		②		(4)	
----	-----	---	--	---	--	-----	--

III	(5)	①		②		(6)	
-----	-----	---	--	---	--	-----	--

IV	(7)		(8)	→	→	→	→	(9)	
----	-----	--	-----	---	---	---	---	-----	--

3	(1)		(2)		(3)		(4)	
	(5)	a		b				
	(6)		(7)		(8)			